

- 計画経済が生む不自由
  - 警告
    - 経済の自由が失われると
    - 人びとの暮らし全体の自由までもが奪われる
  - 計画経済
    - 政府が生産や分配を決める仕組み
    - 自由な市場の判断が無視される
  - 自由を守るため → 市場での自由な競争が必要
- 全体主義への坂道
  - 自由を守るつもりの政策 → 全体主義に向かう
  - 国家
    - 「計画」を最優先にすると
    - 反対する人びとを邪魔な存在に
    - やがて一つの価値観しか認めない社会に
    - （例）20世紀前半のナチスやソ連
- 自由の意味と守り方
  - 真の自由
    - 自分の選択に責任を持てる状態
    - 人びとが自分の判断で生き方を選ぶ
    - 失敗も成功も自分のものになる
  - 個人の自由が土台 → 社会全体の健全さのために不可欠





